

# CAREER PATH

## キャリアパス

入省後は、係員・係長・課長補佐等とキャリアを積み重ねながら、主に特定分野の業務(例えば行政管理・評価、統計、地方自治、情報通信など)を中心に担当します。概ね2～3年に一度人事異動があり、また、本省と地方支分部局との人事交流、地方自治体への派遣、他省庁や在外公館への出向、国内外の大学等への留学など、多様な経験を積む機会があります。

### ●総務省でのキャリアパス

#### 係員級

入省から6～7年程度の間は、本省・地方支分部局等で係員として担当業務をこなしながら、上司や先輩から業務に関する知識や仕事の進め方等を学び、様々な業務経験を積んでいきます。

#### 係長級(20代後半)

本省・地方支分部局等の中堅として責任のある担当業務を担います。担当政策について上司をサポートしつつ、部下を指導しながら、担当する業務の成果を最大化できるよう奮闘します。また、地方支分部局では、本省が立案した施策に対する具体的な業務執行の中核となって活躍します。

#### 課長補佐級(30代後半)

本省で具体的な施策の企画・立案等を通じて、課室長をサポートしながら、担当施策を推進していきます。また、地方支分部局では、課室における業務執行の責任あるリーダーとして重要な役割を担います。

#### 管理職

本省で課室が担当する施策の責任者として重要な役割を担いつつ、管理者として課室員全体をマネジメントします。また、地方支分部局では、局の幹部職員として活躍します。

#### 省の幹部職員へ



## 研修制度

総務省では行政官としてのキャリア形成をサポートするため、地方自治体、民間企業や国際機関との人事交流、国内外の大学等で知見を高めつつ、総務省の行う政策等に資する研究等、多様な経験を積む機会が用意されています。また、数カ月に渡って長期的に実施されるものから、数日で集中的に学習するものまで、様々な研修が用意されています。

### 階層別研修



現在や将来の役職に相応しい知識や技能習得のため、新規採用職員から、係長級、課長補佐級、課長級等、職位に応じた様々な階層別の研修を実施しています。例えば入省直後に実施される新規採用職員研修では、省内各部署で実際に業務を担う職員から、部署の現状と課題や、所掌する行政分野を取り巻く状況を学ぶとともに、様々な講義を通じて、社会人として働く上で必要となるビジネスマナーや論理的な思考能力を養い、服務やコンプライアンス、情報公開制度、政策評価等、国家公務員として相応しい知識と教養を身に付けていきます。

### 専門分野研修



総務省の幅広い行政分野に対応するため、各分野の専門的なスキルを身につけるための研修も豊富に用意されており、職員のニーズにあわせてスキルアップしていくことが可能です。例えば統計分野では、統計研究研修所を有し、統計の基礎知識から統計理論、統計分析まで幅広い研修課程を設けているほか、情報通信分野では、情報通信政策研究所にて、キャリアパスに応じた総合研修、ICTの基礎知識(無線通信やネットワーク)、地域DX等の特定テーマを学ぶ様々な専門研修を受講することができます。また、eラーニングやビデオ教材の活用にも取り組んでおり、業務が忙しい職員でも「学びたい時に」「何度でも」「手軽に」学習しやすい体制が整備されています。

### 語学研修



総務省の所掌する行政分野においても、国際業務は年々拡大しています。この状況に対応し国際舞台で活躍する職員を育成するため、総務省独自に英語等の語学研修を毎年実施しています。日常の業務で外国人とやりとりがあり、コミュニケーションを円滑にしたい、海外赴任や海外留学に備えて勉強をしたい、国際会議への出席に向けて発言の練習をしたい、将来に向けてスキルアップを図りたいなど、様々なニーズを持つ職員がこの研修を受講し、語学力を高めています。また、令和5年度から新たに職員のオンライン英会話等の受講費用の一部補助を行っており、語学力の向上を支援をしています。

### ●総務省以外での活躍の場

#### 他省庁や地方自治体等への出向

他の政府機関、地方自治体、独立行政法人等への出向を通じて、様々なものの見方や考え方を身につけるとともに、業務の提携・連携を深めます

#### 留学制度

国内外の大学等で、専門的または国際的な知見を高めつつ、総務省の行う政策等に資する研究を行います。

#### 在外公館等への出向

世界各地の在外公館や国際機関等に出向して、外交官や国際公務員として活躍しつつ、国際的な視点から、我が国及び総務省の業務を推進します。